

広報 みなみふらの

2

2025.FEBRUARY No.827

祝 南富良野町二十歳を祝う会



- P 2 令和7年 消防出初式
- P 3 令和7年 二十歳を祝う会
- P 4～5 なんぷ Winter Activities!!
- P 6～9 町議会定例会 行政報告・教育行政報告
- P 10～12 カメラレポート
- P 13 地域おこし協力隊活動記⑬
南富良野町の公式SNSの登録をお願いします
- P 14 教育委員会通信
- P 15 南富高新聞
- P 16 ほのお
- P 17 子育て支援センター「ぷっこ」だより
保育所の元気な子どもたち
町ホームページで求人情報を掲載しています
寄附・寄贈
- P 18

未来への扉を開けよう!!二十歳を祝う会 (1月12日)

無火災・無事故を願い



令和7年 消防出初式

1月4日、新年恒例の消防出初式が行われ、多くの来賓が見守る中、制服に身を包んだ消防団員と署員56名が保健福祉センターみなくろに勢ぞろいし、高橋町長や富良野広域連合消防本部西出消防長、佐藤消防団長などによる点呼、観閲を受けました。

会場をみなくろホールに移した式典では、厳粛な雰囲気の中、多くの来賓を前に各分団の昨年1年間の火災予防や消防活動に対し、町長から感謝状のほか永年勤続団員に対する表彰などの授与・伝達が行われました。

その後、町長の式辞では「町民の安心安全のため献身的にご活躍をいただき、消防人としての高い誇りと、その職務の重要性を深く認識され、地域住民の厚い信頼に応えていただくことを期待します。」と述べられました。消防長訓示、来賓の町議会酒井議長・富良野警察署野原署長・陸上自衛隊上富良野駐屯地第14施設群河端群長からの祝辞のあと、佐藤消防団長が「南富良野消防団の伝統と実績を引き継ぎ、団員一丸となって、地域住民の安全と郷土の繁栄のためさらに努力していきたい。」と挨拶が述べられ、参列した皆さんは、今年の無火災・無事故を願いました。

■南富良野町長感謝状

南富良野消防団第1分団（幾寅）
南富良野消防団第2分団（落合）
南富良野消防団第3分団（下金山）
南富良野消防団第4分団（金山）

■富良野広域連合長感謝状

30年勤続 第3分団 副分団長 武田 伸一
功績章 第2分団 副分団長 小出 直由
30年勤続 第3分団 副分団長 武田 伸一

■北海道消防協会長表彰

功績章 第2分団 副分団長 小出 直由
30年勤続 第3分団 副分団長 武田 伸一

■南富良野消防団長表彰

5年勤続 第1分団 団員 磯江 知哉
5年勤続 第2分団 団員 大川 雅人

令和6年中の各表彰受賞者

◆北海道知事表彰（令和6年11月1日受賞）

10年勤続 第1分団 班長 石川 寛和
10年勤続 第2分団 団員 岩城 茂
10年勤続 第3分団 元団員 小蕎 正輝

◆上川地方支部表彰（令和6年4月19日受賞）

特別功績章 第1分団 分団長 伊賀 伸彦
特別功績章 第2分団 分団長 坂本 勝義
功労章 第3分団 分団長 大橋 健二

◆上川地区消防団長会表彰

20年勤続 第1分団 班長 上坂 直樹
（令和6年4月19日受賞）

令和7年 二十歳を祝う会



新たな旅立ち、二十歳の誓い

1月12日、「二十歳を祝う会」が保健福祉センターみなくろで開催され、これからの時代を担う二十歳の皆さんを祝福しました。

祝う会は、家族や来賓の方々が見守る中、真新しいスーツや晴れ着に身を包んだ25名が、ステージから一人ひとり二十歳の抱負などを述べ登場しました。

鈴木教育長が「これからの人生の中で、皆さんだからこそできることが必ずあるはずです。それを見つけるためには、皆さんの苦労や努力が必要となるかもしれませんが、自分の力を信じ、挑戦していただきたい。」と式辞を述べられ、来賓を代表し高橋町長と町議会酒井議長から激励の言葉が贈られました。

二十歳の方を代表して阿部悠希さんと中島歩美さんより「郷土である南富良野町の発展のために若い力を結集し、共に力を尽くします。」と誓いのことを力強く述べられ、今野遙也さんと河原愛紗さんが「飲酒運転、無免許運転は絶対にしません。」と交通安全宣言を行いました。

また、小川紗矢さんより「皆様方からいただきました意義深い教訓をしつかりと胸に刻み、大人社会の一員として自ら考え、行動し、未来を築いていく覚悟を持つて進んでいきます。」と謝辞を述べられ、皆さんは、自分たちが次代を担っていく決意を新たにしていました。



誓いのことば
中島 歩美さん・阿部 悠希さん



交通安全宣言
河原 愛紗さん・今野 遙也さん



謝 辞
小川 紗矢さん

Winter Activities!!

スキー& スノーボード

壮大な雪山を舞台に、初心者から上級者まで各レベルに合わせたコースで最高の滑りを楽しめます。

ロッジ内では、町名産物「バタじゃが」のフライドポテトや人気商品の「牛タンカレー」を楽しめます。

○営業時間 9時00分～21時00分（火～土曜日）

9時00分～16時00分（日曜日）

※月曜日が祝日の場合、その前日の日曜日は、
ナイター営業します。

○定休日 月曜日（祝日の場合は営業します。）

○問い合わせ先 企画課商工観光係 ☎0167-52-2115

リング場「空知川スポーツリン

体験してみませんか。

※火曜休館日

みてください。

クスにおいて貸出しますので、
い。

学校 ☎0167-53-2171

ソリ滑り用の雪山もあるよ!!

氷上のチェス!! カーリングを楽しもう!!



ワカサギ釣り

白銀の世界に囲まれた「かなやま湖」で楽しむワカサギ釣りは、家族や友人と一緒に楽しむことができます。凍った湖の上で釣りを楽しむ体験は、他では味わえない特別なものです。

【注意事項】

- 釣り場は管理人がいないため、自己責任で行ってください。事故等について町は、一切の責任を負いません。
- 決められた駐車場をご利用ください。

○問い合わせ先 企画課商工観光係 ☎ 0167 - 52 - 2115

なん
Win
Activi



町出身のオリンピック選手が誕生したカークス」!!

南富良野町の特徴を活かしたカーリングを

○利用期間 4月6日(日)まで

○利用時間 10時00分～21時00分

○利用方法 事前に下記管理者へ申し込

○用具貸出等 用具は空知川スポーツリン
管理人まで申し出てください

○申込み・問い合わせ先

指定管理者 どんころ野外



町議会定例会

行政報告・教育行政報告

令和6年12月18日に開催されました第4回定例会において、高橋町長が7件の行政報告と鈴木教育長が3件の教育行政報告を行いましたので、内容についてお伝えします。

町長の行政報告



企画課関連

令和6年度上期ふるさと納税の納付状況について

本年度9月末現在のふるさと納税は、昨年同期と比較し件数では、283件減

の2,358件、納税額では327万1千円減の3,687万4千円となりました。減少の要因は、昨年度国において返礼品割合見直しが10月から行われ、駆け込みによる納税が9月までに大きく増えたことによります。本年度は、産官学連携による新たな返礼品として、南富良野高等学校の生徒が考案したミニトマトジヤム「南富のしずく」を開発し10月からふるさと納税の返礼品として取り扱いを始めたところであり年末へ向けた納税に期待するところでもあります。

また、11月16日、17日の両日、東京で開催された「北海



南富のしずく

道の魅力発信タイアップイベント」に参加し、新規納税者の獲得に繋げるため返礼品の展示や観光パンフレットを配布するなど本町の知名度向上に向けた取り組みを行いました。引き続き、寄付額の増額に向けた取り組みを進めてまいります。

令和6年度上期観光客の入込状況について

本年度9月末現在の町全体の観光客入込数は、昨年同期と比較し6万7千人増の32万3千人となり、そのうち道の駅物産センターへの

入込客数は1万2千人増の18万9千人となりました。また、本年4月27日にオープンしました道の駅公園「なんぷアドベンチャーパーク」には2万4千人の方に来場いただき、道の駅を目的地として訪れる観光客が増加したところでもあります。

湖畔キャンプ場及びオートキャンプ場の入込客数については5千人増の2万人、ラフティングなどのアクティビティを目的とした観光客も9千人増の2万2千人となりました。

このように道の駅の再編整



なんぷアドベンチャーパーク

産業課関連

鳥獣害対策について

本年度の鳥獣害対策については、農作物被害の防止軽減を図る「鳥獣被害防止計画」及びヒグマから住民生活の安全を守る「ヒグマ対策基本方針」に基づき、富良野警察署、猟友会南富良野部会をはじめ関係機関と連携を図り対策を進めてまいりました。

農作物被害防止軽減を図るため本年度より農業者に費用の一部助成を開始し、電気牧柵では11件、捕獲用わなでは5件の助成を実施しております。

また、有害鳥獣の個体数を減らす取り組みについては、本年度から熊等捕獲事業に、ウサギを対象に加え現在の駆除数は、熊24頭、鹿486頭、ウサギ25頭であります。引き続き、猟友会南富良野部会のご協力を頂きながら、農作物被害防止のため継続した取り組みを進めてまいります。

ヒグマ対策については、多くの観光利用客が訪れるかなやま湖キャンプ場周辺に約4キロの電気柵を設置し、設置後は熊等の目撃情報もなく効果が表れているものと判断

しています。

しております。市街地周辺のヒグマ対策については、周辺住民に対し目撃情報による注意喚起の文書を速やかに配付し、熊の痕跡があった場合は草刈りにより緩衝帯やスマートフェンス（簡易的な電気柵）を設置し、熊の侵入を防止する対策を実施してまいりました。

おける農地の集約化についての講習、ファームエイジ株式会社では、電気柵や鹿柵を活用した有効な鳥獣対策の方法や新たな資材等の調査などを行いました。今後、研修の成果が来期に向けた営農に生かされることに大きな期待を寄せているところです。

保健福祉課関連

■南富良野町敬老会について

去る11月27日、町敬老会を「保健福祉センターみなくる」において開催いたしました。

総務課関連

■KDDIとの包括連携協定について

去る10月30日、本町のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を加速化しデジタル技術を活用した地域づくりを進めるためにKDDI株式会社と包括連携協定を締結いたしました。

この協定には、国が進める「デジタル田園都市国家

構想総合戦略」に基づきデジタル社会の実現に向け本町の基本となる「DX推進計画の策定に関すること」や「行政の事務・サービスのDX推進に関すること」、「デジタル人材育成に関すること」などが盛り込まれております。

また、この協定に基づき、国の地域活性化起業人制度を活用し、KDDI株式会社より職員を派遣いただき、11月1日に総務課デジタル推進係へ着任いたしました。少子高齢化、人口減少が進む今日においてデジタル技



若手農業者研修

次に本町の農業を担う若手農業者の研修及び交流会を11月20日、21日に9名の方々が参加し実施いたしました。



南富良野町敬老会



KDDI株式会社と包括連携協定

術、更にはAIなどの活用を推進し住みよいまちづくりに大きく貢献していただけるものと期待するところがあります。

防災安全推進室関連

■町民参加の防災訓練について

去る11月17日に住民参加の防災訓練を幾寅地区の東町・西町・岐阜の皆様を対象に、48名の参加をいただき南富良野小学校体育館を会場に実施しました。

当日は、大規模停電による避難指示が発令された想定により、自宅からの避難を開始し避難完了後、防災講話、非常持ち出し品の確認、段ボールベット等、町の備蓄資機材の取扱い、要支援者に対する応急措置、非常食の試食などを通じて防災意識の高揚を図りました。今後も各地区自治会や関係団体と連携を図り防災力を高める取り組みを行ってまいります。

教育長の 教育行政報告



■小中学校の活動状況等について

2学期における学校行事等の主だったものといたしまして、南富良野中学校の学校祭が9月14日に、学芸会につきましては、南富良野小学校では10月19日に、南富良野西小学校では11月2日に、それぞれ予定どおり開催され、地域の皆様にも元氣な児童・生徒の姿をご観覧いただくことができました。12月11日には、南富良野中学校において、納税や公平な税負担の大切さについて考え



てもらうため、南富良野高等学校の3年生が講師となつて、中学3年生に向けた特別授業を実施いたしました。この取り組みは、南富良野高等学校で行われた富良野税務署長による租税教室で学んだことをもとに、地元の身近な高校生が工夫を凝らした授業を行ったもので、地域の一体的な租税教室として税金の仕組みや役割を学ぶことができました。

また、中学生における全国

学力学習状況調査の結果から、特に全国平均を下回っている「国語」に関する課題への取り組みの一つとして、北海道新聞社富良野支局 千葉記者を講師に招いた全校授業が開催され、新聞記者になろうと思ったきっかけや、取材・紙面作りの苦労と喜びなど、これまでの体験について講演をいただき、その後、グループに分かれオリジナルの新聞づくりを体験し、言葉の特徴や使い方を学びました。



■就学時健康診断の実施について

去る10月10日に令和7年度小学校入学予定者に対する、就学時健康診断を保健福祉センターを会場に、当該児童及び保護者が出席し、学校医及び歯科医による検診、視力・聴力検査、並びに適性検査を実施いたしました。令和7年度は、南富良野小学校では16名、南富良野西小学校では2名の該当児童がおり、総児童



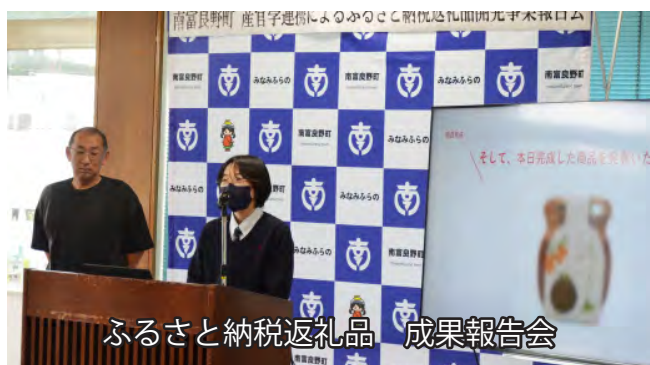
数は112名となり令和6年度と同数となる予定であります。

■南富良野高等学校の事業等の取組について

南富良野高等学校の事務事業等の取組については、本年度、新たなふるさと納税返礼品の開発を目的に、本校の生徒が考案したトマトとシーベリーを使用した特製ジャム「南富のしずく」の成果報告会を、9月27日に開催いたしました。この試みは、地域資源の価値や魅力を生徒が考へ、商品を創造することにより、地元地域への愛着を育むことを目的に、町やふるさと納税返礼品の委託業者、かなやま湖口グホテルラーチ、地元トマト生産農家の協力のもと、1学期から試作や試食会を行い完成したもので、報告会では考案生徒から発案の経緯などが説明され、実食では好評価をいただいたところであ

ります。「南富のしずく」は、10月3日からふるさと納税返礼品として取り扱われているほか、セブンイレブン南富良野店でも販売が開始されているところでもあります。

日頃からご支援・ご協力をお願いしている地域の皆さまに感謝と本校の教育活動をより広くご理解していただくため、初の取り組みとして「南富良野高等学校感謝祭」を開催いたしました。吹奏楽部の演奏発表を皮切りに、理科の



実験やダンス教室をはじめ、カヌー部員による練習機材の体験指導を行ったほか、正午からは生徒達が調理したピタパン・フランクフルトなどの販売を行うとともに、北落合地区の農家の皆さんから提供していただきました「じゃがいも」・「人参」のほか、新たにふるさと納税の返礼品となりました「南富のしずく」の販売も行い、大盛況でありました。ご協力・ご来校いただきました皆さまには、感謝を申し上げます。

また、10月11日から14日に佐賀県佐賀市で開催された第78回国民スポーツ大会では、北海道代表選手に本校カヌー部員の生徒10名が選拔され、3年生の男子部員がカヤックシングルの部500メートルで5位入賞、同じく200メートルで4位入賞と北海道代表選手として輝かしい成績を収めました。カヌー部は、本年度から指導者の強化を図り、次年度以降におき



ましても、引き続き好成績が収められるよう期待しているところでございます。

来年度の生徒募集に向けた取り組みについては、9月に開催した学校見学説明会に参加された中学3年生と保護者の方々を対象に、11月8日にカールング体験会を実施いたしました。札幌市や旭川市、富良野沿線から9名の生徒と7名の保護者の参加があり、授業見学、給食の試食を行ったのち、新たに完成した学生



寮の見学も行い、本校の魅力を伝えました。1人でも多くの生徒が本校を志望してくれることを期待するところでもあります。

進路状況につきましては、卒業予定者16名中、進学は6名で4名が道内私立大学や専門学校に合格しております。また、就職は10名で、南富良野町や公務員、民間会社の内定がすべて決まっているところであります。

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎ 52-2115）（FAX 52-2922）までお知らせください。

カメラレポート

CAMERA REPORT

商工振興施策に関する要望書を提出 (12月18日)

町商工会（小泉憲勝 会長）は「商工会に対する市町村補助金についての要望書」を高橋町長に提出しました。

要望書は、次年度の経営改善普及事業及び地域振興事業に対する助成並びに事務局長設置に関する助成、中小企業・小規模事業者に対する金融支援のほか、小規模事企業の振興に関する条例の制定、移住・交流事業に対する支援の6項目を要請する内容であります。

商工業の振興は町の重要な施策であることから、新年度の予算編成において検討します。



公民館事業「そば打ち教室」を開催 (12月18日)

町公民館事業として保健福祉センターみなくるで「そば打ち教室」が開催されました。

町内在住のそば打ち歴40年の安部隆廣さんとそば打ち歴15年の石川信行さんを講師に、北落合産のそば粉を使用して二八そばを打ちました。

二八そばとは、そば粉8割に対して、つなぎ（割り粉）である小麦粉を2割の割合で打ったそばのことをいい、そば打ちの基本とされています。

参加した18名の方は、先生に倣い熱心にそば打ちをされていました。



子ども達から年賀状の贈りもの (12月19日・20日)

放課後子ども教室（フレンド・サバンナ）に通う児童たちは、高齢者生活福祉センター和楽園、くるみ園に入居する方々に自分たちで作製した年賀状を贈りました。

子どもたちは、「へび」のイラストを描いた年賀状や折り紙などを手渡し、受け取った入居者の方から「風邪などを引かないよう、良いお年をお迎えください。」とお話されていました。



CHECK!



スマホで動画をチェック!!

幻想的な灯りに包まれ「アイスクャンドルナイト」開催 (12月20日～21日)

12月20日から21日に、幾寅駅周辺をアイスクャンドルで灯す「アイスクャンドルナイト」が、南富良野まちづくり観光協会（岩永かずえ 理事長）主催のもと、南富良野アイスクャンドル愛好会（糠谷雄次 会長）や町内各企業の協力により開催されました。

アイスクャンドルは、地元企業等の協力を得て約850個が製作され、期間中に日が暮れると、幾寅駅の正面やホーム、線路に設置されたアイスクャンドルに火が灯され、幻想的に彩られました。また、駅舎前のキハ号の汽笛を鳴らすイベントも開催され、訪れた方々は懐かしんでいました。

21日の夜には、小学生以下の子ども達に先着でお菓子がプレゼントされたほか、幾寅駅の裏側から花火が打ち上げられ、町内外から訪れた多くの方々は、アイスクャンドルの幻想的で温かな灯や冬の夜空の花火を楽しんでいました。



地元産の大きな鏡餅で新年を祝う (12月24日)

南富良野町もち米部会（武田伸一 会長）から、新年を祝う鏡餅が寄贈されました。下金山地区で収穫された「はくちょうもち」を使った2段積みの大きな鏡餅は、役場の仕事始め日から庁舎玄関入口に飾られ、訪れる町民の皆さんを出迎えていました。



年末の運試し!! なんぷニコニコカード現金つかみ取りイ ベント開催 (12月26日～27日)

なんぷニコニコカード会（小出直由 会長）は、昨年に続き年末恒例の「現金つかみ取りイベント」を開催しました。初日の26日午前中は金山・落合地区で開催され、同日午後及び27日は幾寅地区での開催となりました。

満点になったなんぷニコニコカード1枚につき、抽選くじを1回引けるもので、1等は千円札の現金つかみ取り。イベント開始から多くの町民の方が訪れ、中には何枚もの満点カードで参加される方もいました。



スキーの楽しさを学ぶ

(1月11日・18日・25日)

町スキー連盟（西山雅明 会長）と南富良野スキー指導員会（森 彰廣会長）による町民スキー教室が、南ふらのスキー場を会場に、1月の第2週の土曜日から3週続けて行われ、多くの町民の皆さんが参加しました。

教室ではそれぞれ技術に応じてグループに分かれ、スキー指導員から、スキーの楽しさと安全に滑走する技術を学んでいました。



身近な自然の中で理解を深める。「野外体験交流事業」実施

(1月13日)

町子ども会育成連絡協議会は、自然の中での組織的な活動を行うことで、自然と調和して生きていくことの大切さの理解を深めること、また、五感を通した「遊び」、「学び」を多くの体験から豊かな感性、想像力、知的好奇心を高め、子ども達の交流を深めることを目的とした野外体験交流事業が、金山高台地区で行われました。

当日は、約40名もの子ども達が参加し、地域の方々の協力を得て自然の中でのスノーモービルやスノーラフティング体験を行いました。子ども達は、スノーモービルの操縦体験やクラフトボートの速さを体感し、大人も子どもと一緒に冬の遊びを楽しみました。



新年の平穏と無病息災等に祈り (1月19日)

幾寅野球スポーツ少年団と南富良野スキースポーツ少年団が、正月を締めくくる恒例行事「どんど焼き」を行いました。

この日集まった団員と指導員、育成会員は、幾寅地区の各家庭を訪問して、お正月のしめ飾りやお札などを集め、南富良野神社境内において焼納し、1年の無病息災・心願成就などを祈願しました。



地域おこし協力隊活動記⑬

本町では、6名の「地域おこし協力隊」が町の振興や発展のため活動しています。その活動内容や様子を町民の皆さんに紹介します。

なかや よしひこ
中谷 仁彦隊員（情報発信強化員）

2023年10月に南富良野町に地域おこし協力隊として移住してから、あっという間に時間が過ぎ、季節も巡り、さらに新たな挑戦に取り組む機会を得ました。前回の活動記から今回までの間に、特に印象的だったのは、生成AIを活用した勉強会の開催です。町内の方々と一緒に、2回にわたって「生成AI勉強会」を行い、AI技術がもたらす可能性や応用範囲について共に学び、議論を深めました。参加者の多様な視点や意見に触れることで、私自身も大いに刺激を受けています。

また、この取り組みの一環として、AIリテラシー向上に寄与するとされる「AI for Everyone」コースを日本ディープラーニング協会（JDLA）の日本語版で受講し、無事修了しました。このコースを通じて、世界的なAI教育リソースが日本向けに強化されていることを実感すると同時に、DX時代に必要とされる知識や考え方を再確認することができました。こうした学びを、南富良野町のデジタル化推進に生かしたいと思います。

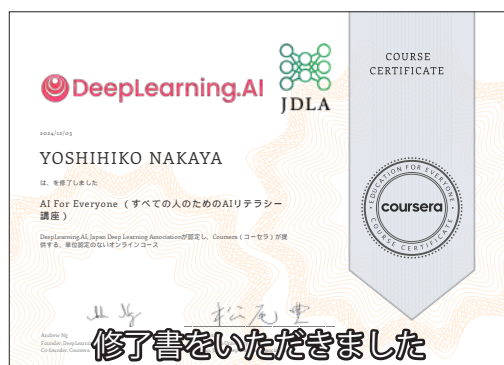
さらに、11月からは幾寅地区にある「りたのいえ」で、スマートフォン活用をサポートする教室を毎月1回ペースで開催しています。地域の皆さんがスマートフォンやアプリを使いこなす、情報発信や日常生活の利便性向上につなげていく一助になればと考えています。今後の展開は未定ですが、受講者の声を反映させつつ、より有益な内容にブラッシュアップしていく予定です。

14ヶ月間の歩みの中で、町民の方々、そしてここで得た新たな学びや挑戦が、私に大きな活力を与えてくれています。これからも地域おこし協力隊として、皆さんと共に南富良野町を支え、育てていきたいと思っています。どんな小さなきっかけでも、新しいアイデアや提案は大歓迎です。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。



生成AI勉強会を行いました



修了書をいただきました

南富良野町公式アカウントの登録をお願いします

南富良野町公式アカウントの登録をお願いします。Instagram、Facebook、X（旧Twitter）、LINEを活用して、南富良野町の魅力や最新情報をお届けしています。町内の皆様にはLINEを通じて生活に役立つ情報を発信しています。Instagram、Facebook、Xでは、町外の方々に向けた南富良野町の素敵な情報を共有しています。ぜひご登録ください。

また、SNSの使い方やスマートフォンに関するお困りごとについてのご相談も承っています。何かご不明点があれば、お気軽にお問い合わせください。



LINE



Instagram



facebook



X

※町ホームページにも (<https://www.town.minamifurano.hokkaido.jp/>) 二次元コードを載せていますので、ご覧ください。

町の文化財や史跡について紹介します 第21回目は、「森林鉄道跡」です。

※第20回目「下金山木工場跡」は10月号に掲載しています。

金山十梨別の一級森林軌道は昭和3年9月に着工し、同5年6月に完成したもので森林鉄道としては北海道のトップをきったものと称されている。

「南富良野村史・町史」から引用抜粋

森林鉄道跡の歴史は、町史に詳しく記載されています。下記の二次元コードからご覧ください。



町 史



村 史

※南富良野町ホームページ内サイト（生涯学習係）にて
史跡情報を掲載しています。

南富良野町奨学資金貸付のお知らせ

町（教育委員会）では、高校生以上の在学者で経済的事情により修学困難な方に対し、奨学資金の貸付を行っています。

- 貸付条件
- ・親権者もしくは、これに代わるべき方が町内に居住していること
 - ・成績優秀、素行善良で学校長が推薦する方であること
 - ・経済的理由により、修学が困難な方であること

- 貸付金額（貸付は年度単位）
- ・高等学校生徒 月額 25,000 円以内
 - ・専門・専修学校生 月額 50,000 円以内
 - ・短期大学生・大学生 月額 50,000 円以内

※高等工業専門学校に在学する生徒にあたっては、高等学校生徒および大学生に準じます。

- 償還方法 貸付終了の月の翌日から起算して1年を経過した後、5年以内の償還になります。ただし、在学中に貸付を終了した場合は卒業した月の翌日から起算します。奨学資金の貸付は無利子です。

- 貸付の申請 希望される方は「貸付申請書」に「在学学校長の推薦書」「成績証明書」「住民票抄本」を添えて、奨学資金を受けようとする1ヶ月前までに教育委員会総務係に提出願います。「貸付申請書」「在学学校長の推薦書」は、教育委員会に備え付けています。

なお、貸付にあたっては、保証人（町内に居住し、独立の生計を営む成年人2人）が必要です。

●ご不明な点は上記、連絡先までお問い合わせください●

南富高新聞

第93号

発行
南富良野高等学校

各部の活動について

～吹奏楽部定期演奏会 & 男子カーリング部全道大会へ～

12月15日、本校体育館を会場に第11回南富良野高校吹奏楽部定期演奏会が開催されました。

地域住民や保護者など、50名を超える聴衆の方に演奏を楽しんでいただきました。今年度の吹奏楽部は、3年生2名、2年生1名、1年生2名の合計5名です。顧問2名も演奏に加わり、7名での演奏会となりました。ま



た演奏会の終盤には、ゲストとして南富良野中学校吹奏楽部の部員・顧問の先生方にも参加していただき、アンコールも合わせて合計11曲を披露しました。

曲目は「魔女の宅急便」や「銀河鉄道999」などの映画やアニメの曲や「Mrs. GREEN APPLE メドレー」などのJ-POP等が中心で、どれも耳馴染みのある曲ばかりでした。いずれの曲も部員の「押し曲」で、部員一人ひとりが、選曲した理由や曲の聴き所を丁寧に説明しました。聴衆からは曲に合わせた手拍子や、各曲が終わるたびに盛大な拍手が巻き起こりました。

演奏会の途中には、今回で引退する3年生から、3年間の思い出や後輩達へのメッセージ

ジを込めた手紙を読み上げる場面もあり、感動の演奏会となりました。

冬の訪れとともに、カーリング部の活動が本格的になってきました。12月14日・15日に札幌で行われた「第22回道央ブロックジュニアカーリング選手権大会」では、男子が第3位に入賞し、1月22日～26日に帯広で開催される全道大会に進出することになりました。男子は1年生中心のチームですが、着実に実力を付けてきています。全道大会でも全力を尽くして、上位入賞を目指して欲しいと思います。

カーリング部は、3月まで大会が続きます。ぜひ皆さんの応援をよろしくお願いいたします。



しょうぼう広報ほのお

富良野消防署南富良野支署

☎ 52-2119 FAX 52-2979

✉ fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp

災害案内 ☎ 52-3119

AEDの使用方法について

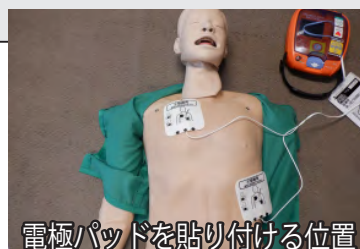
AED 使用手順



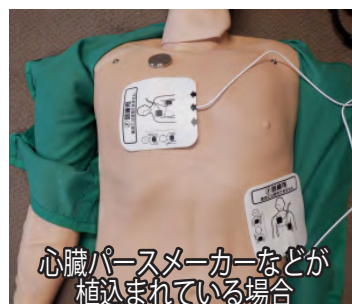
- ① 傷病者の頭部付近に置き AED の電源を入れます。AED には電源ボタンを押すものと蓋を開けると自動的に電源が入るものがあります。



- ② 傷病者の胸に電極パッドを貼ります。貼り付ける位置は右胸と左わき腹です。パッドを貼る際に胸にペースメーカー・貼り薬・貴金属・下着があるか、胸が汗などの水分で濡れていないか、胸毛が濃くてパッドが浮いてしまわないかを確認してください。ペースメーカーは埋め込まれている部位を避け、貼り薬・貴金属・下着は取り除き、胸の濡れは拭き取ります。胸毛は濃い部位を避けて貼るかカミソリやテープ等で取り除いてから貼ります。



- ③ パッドを貼り付けると音声流れ、自動で心電図の解析が始まります。解析中は周囲に注意を促し傷病者に触れないようにします。解析後ショックが必要か不要かの音声流れます。AED が不要と判断した場合は直ちに胸骨圧迫を再開してください。



- ④ AED ショックが必要と判断すると自動的に充電を始めます。充電が完了するとショックボタンを押すよう音声流れるので周囲に注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認してショックボタンを押し電気ショック行います。

- ⑤ 電気ショックを行ったら、直ちに胸骨圧迫を再開します。2分後に再び心電図の解析を行うのでそれまで胸骨圧迫を行い、救急隊が到着するまで解析から胸骨圧迫までの活動を続けます。救急隊到着時には電気ショックをした回数を教えてください。



南富良野支署出動件数 (令和6年1月1日～令和6年12月31日)

- 救急出動 152件 (うちドクターヘリ要請件数 13件)
- 火災出動 3件 (うち他市町村応援出動 1件)
- 救助出動 3件

子育て支援センター「ぷっこ」だより

☎ 52-2315

～☆★明るく元気な子に育ちますように☆★～

子育て支援センター ☎ 090-5985-4339

寒さも厳しくなってきましたが、それでも晴れて太陽が出ていると、ぽかぽか暖かくて気持ちいいですね。まっさらの雪の上にたくさん足跡をつけたり、雪を踏みしめる音を楽しんだり、キラキラの雪でたくさん遊びましょう！



☆ぷっこクラブ（クリスマス会）

手作りの三角帽子が似合うでしょ。
サンタクロースの登場にビックリ！！でしたね。



☆ぷっこクラブ（クリスマス会）

プレゼントをもらった後はクッキング。
サンドイッチでクリスマスツリーを作りました。



☆パパぷっこ

パパがお休みの土曜日に開催しました。
パパと遊ぶかわいらしい姿を写真に収めました♡



☆出張金山支援センター

金山保育所のお友達と元気いっぱい追いかけてしたりボールで遊びました。

保 育 所 の 元 気 な 子 こ も た ち

幾寅保育所

12月25日にクリスマス会がありました。「ジングルベル」と「あわてんぼうのサンタクロース」を歌い、クラス発表では歌や踊りを披露しました。サンタさんが登場し、プレゼントをもらおうと笑顔で「ありがとう！」と嬉しそうに受け取っており、素敵な時間を過ごせました。



金山保育所

今年度もたくさん郵便局にお散歩へ行きました。郵便局内でのお仕事を見て、疑問に思ったことを質問する子どもたち。実際に対応している、貴重な場面も見られました。いつもありがとうございます。これからも、どうぞよろしくお願いします(o^ー^o)



町ホームページで求人情報を掲載しています

町民の皆さまや移住希望者へ向け、町ホームページで求人情報を掲載しています。

フルタイム／パートタイムの種別ごとにまとめているので、お仕事を探されている方はぜひご覧ください。

◎掲載場所 右記の二次元コードを読み込みご覧ください。

町ホームページ＞移住・定住情報＞オンライン移住相談窓口

ホーム右下（スマートフォンの場合は下部）のバナー欄にも掲載しています。



寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。
皆さんのご厚志に対し紙上をもつて厚く
お礼申し上げます。

南富良野町へ

◎幾 寅 株式会社吉岡建設様より町の
振興に対する寄附として

二百万円

企業版ふるさと納税

◎札幌市 株式会社セコマ

社会福祉協議会へ

◎幾 寅 幾寅婦人会様より社会福祉協
議会の運営に活用する寄附として

一万円

◎北 落 合 十河和幸様より故十河澄子様
生前のご厚志に対するお礼として

五万円

◎富良野市 富良野地方物産振興会様より
富良野地方物産振興会主催特産品フェアの
売り上げの一部と来場者からの募金の一部
として

五万円

◎幾 寅 佐藤秀博様より故佐藤キン子
様生前のご厚志に対するお礼として

三万円

一味園・からまつ園・こぎくら園・ふくし
あへ

◎帯広市

キングラン北海道株式会社

様

◎札幌市

株式会社特殊衣料

様

◎東川町

中 ひろ子

様

◎旭川市

佐藤 栄子

様

◎幾 寅

三浦 正利

様

◎旭川市

小松建設工業株式会社

様

◎落 合

大町 紀子

様

◎幾 寅

株式会社ソケイズ

様

◎幾 寅

吉田 千春

様

◎幾 寅

新谷 昭子

様

◎北 落 合

幾寅婦人会

様

◎幾 寅

株式会社吉岡建設

様

◎富良野市

メガネのデ・アイ

様

◎富良野市

株式会社コダマ

様

◎富良野市

大北土建工業株式会社

様

◎芽室町

辻 経之

様

◎旭川市

高橋 厚子

様

◎旭川市

旭川大丸ケアサービス株式会社

様

◎旭川市

株式会社橋本川島コーポレーション

様

◎旭川市

有限会社キューブプランニング

様

◎旭川市

株式会社柴滝建築設計事務所

様

◎札幌市

アスカマネジメントアシスト

様

◎札幌市

JAPAN QUALITY

様

◎神奈川県

上元 順

様

◎美瑛町

窪田 佳代

様

◎清水町

澤山 美代子

様

◎士幌町

神野 光男

様

☆お誕生おめでとう

幾 寅 米木 千^{せん}

令和6年12月19日生まれ

★お悔やみ申し上げます

下金山 澁谷 英之^{（81）}

令和6年12月23日逝去

幾 寅 佐藤 キン子^{（88）}

令和6年12月26日逝去

幾 寅 前川原 忠夫^{（91）}

令和6年12月26日逝去

南 わたしたちのまち

（令和6年12月末日現在）

人口 2,236人^{（△7）}

男 1,143人^{（△2）}

女 1,093人^{（△5）}

世帯数 1,293戸^{（△9）}

（ ）内は前月比